

Andy Williams 「It's the Most Wonderful Time of the Year」 (1963)というタイトルのクリスマスソングがチャートインしている通り、日本でいう年末年始のような立ち位置の北米でのクリスマスを人生で初めて体験しました。

社会全体が浮かれ気味の今月は、友人宅の夕食に招待されることが特に多く、ドイツ人、トルコ人留学生など沢山の人々とコミュニケーションを取りました。

12月25日の朝、隣の家の人さんのヤードに普段2台しかない車が7台も駐車していました。

日本とは真逆で、カナダの人々は、クリスマスには家族と一緒に過ごし、大晦日は友人と過ごすようです。

また、カナダでは家族や友人同士でプレゼントを交換する、子どもたちはサンタさん+両親+兄弟姉妹と多方面からプレゼントを大量にもらえる、クリスマスツリーは天然の木を直接切って部屋に飾るなど日本のクリスマスとは少し異なります。

ホストファミリー全員に日本のお菓子の詰め合わせをプレゼントしたところ、とても喜んでくださいました。



シカゴにお住いのホストファザーの友人が1週間ナナイモにバケーションに来られて、夕食の際に、沢山会話をしました。

以前考古学の研究をされていたそうで、山の奥深くで生活されている部族の方々と交流をされたときのエピソードが印象的でした。

また、Tim Hortons というカフェのドリンクを僕のためにテイクアウトしてくださり、とても親切な方でした。

全く異なる人種、背景でも英語を使えば、感情や体験を共有できることに感動を覚えました。

カナダ留学もあと少しで折り返しと、時の流れを非常に早く感じます。

気温も少し前まで -5°C 付近でしたが、最近は暖かくなってきて、 0°C を超えることが増えて、だいぶ過ごしやすくなってきました。

模擬国連部に所属していますが、コミュニケーションの機会をさらに増やしたいので、外部のクラブやボランティア活動などを通して、スピーキングに集中的に取り組んでいきたいです。

また、Semester1 も残り 1 か月となったので、来月はラストスパートをかけていきたいです。



白鷗高校 14 期生 次世代リーダー育成道場 10 期生 J.J